

筑摩書房版『現代の国語』「観点別評価例」

第1章 問うこと、語ること「境目」

「境目」(川上弘美) 観点別評価				A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する	評価方法				
チェック項目	学習指導要領の項目										
ことばと思考	知識・技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	ア	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること	教材「境目」に用いられている語彙を正しく理解し説明できる。「境目」という語を用いて、筆者がどのような認識や思考を述べようとしているかを十分理解し、活用することができる。	教材「境目」に用いられている語彙を正しく理解している。「境目」という語を用いて、筆者がどのような認識や思考を述べようとしているかの一定の理解はできている。	教材「境目」に用いられている語彙を正しく理解できていない。「境目」という語を用いて、筆者がどのような認識や思考を述べようとしているかの理解も不十分である。	定期テストなど	発表ノート	ワークシート	
ことば遣い			イ	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適正さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。	クラスの前で発表する際には、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適正さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて十分理解し、自ら使うことができる。	クラスの前で発表する際には、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適正さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解できている。	クラスの前で発表する際には、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適正さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解できていない。	定期テストなど	発表	ワークシート	
漢字			ウ	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことが十分できる。	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	常用漢字の読みに慣れておらず、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができない。	定期テストなど	発表ノート	ワークシート	
内容把握		(2) 情報の扱い方に関する事項	ア	主張と論拠など情報と情報の関係について理解すること。	「境目」を引く行為が「非常に困難なものを呼び寄せる可能性を持つ」という主張とその論拠、また「なかなか味のあること」であるという主張とその論拠について、それぞれ十分に理解できている。	「境目」を引く行為が「非常に困難なものを呼び寄せる可能性を持つ」という主張とその論拠、また「なかなか味のあること」であるという主張とその論拠について、少なくとも一方は理解できている。	「境目」を引く行為が「非常に困難なものを呼び寄せる可能性を持つ」という主張とその論拠、また「なかなか味のあること」であるという主張とその論拠について、理解できていない。	定期テストなど	発表ノート	ワークシート	
情報の整理			イ	個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。	自ら「境目」という語を用いて、自分の具体的な経験や出来事をまとめることが十分できている。	複数の具体例を、「境目」という語でまとめあげることができる、ということは理解できている。自ら「境目」という語を用いて、自分の具体的な経験や出来事をまとめるよう努力できている。	複数の具体例を、「境目」という語でまとめあげることができるということを理解できていない。	定期テストなど	発表ノート	ワークシート	
発表		思考力・判断力・表現力等	A 話すこと・聞くこと	ア	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。	「境目」について、自分の考えと、自分を取り巻く社会・生活とを十分関連させながら提示できている。「境目」について、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討して十分に用いることができている。	「境目」について、自分の考えと、自分を取り巻く社会・生活との関連を提示できている。「境目」について、多角的な観点から情報を収集し、整理できている。	「境目」について、自分の考えと、自分を取り巻く社会・生活とが関連付けられていない。「境目」について、情報を収集できておらず、自分の考えだけで論を立てている。	定期テストなど	発表発表原稿	ワークシート
授業態度・発表	主体的に学習に取り組む態度			教材の内容に関心をもち、粘り強く取り組むことができた。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができた。	教材の内容に関心を持つことができた。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞くことができた。	教材の内容に関心を持つことができなかった。発表の態度は消極的で、ほかの人の発表も聞くことができなかった。	定期テストなど	発表発表原稿	ワークシート	授業態度	